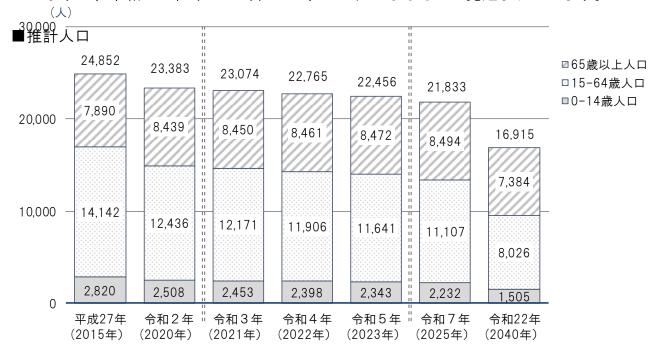
高齢者福祉施策及び介護保険事業に係る美里町の状況

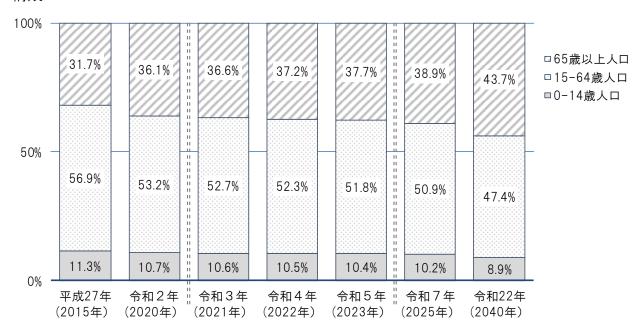
1. 将来人口

直近の平成27年(2015年)国勢調査を基準とした国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、貴町の人口は、減少傾向が続きます。また、高齢化率は、すでに30%台となっていますが、令和22年(2040年)には、43.7%になるものと見込まれています。



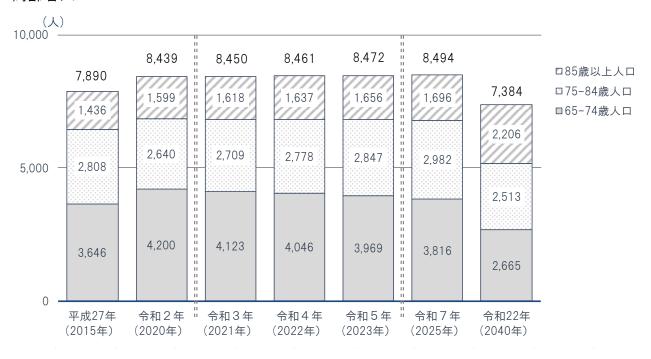
※平成27年は国勢調査。令和2年、令和7年、令和22年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」。令和3年~令和5年は同推計をもとに独自に計算。本頁及び次頁はすべて同様。

■構成

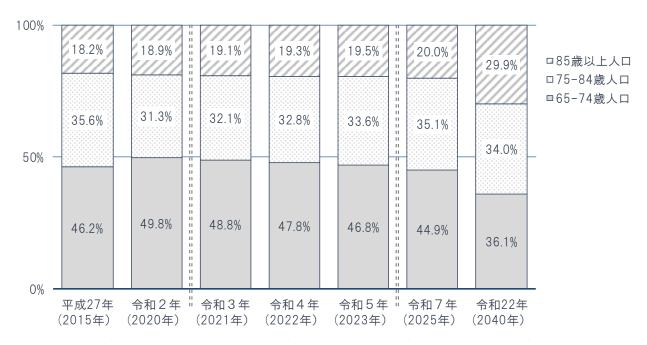


また、高齢者人口を「65歳~74歳」、「75歳~84歳」、「85歳以上」の3区分でみると、 当面、「85歳以上」は1,600人台、構成比では19~20%台で推移しますが、令和22年(2040年)には29.9%となり、高齢者の約3割が「85歳以上」になるものと見込まれます。

■高齢者人口



■構成

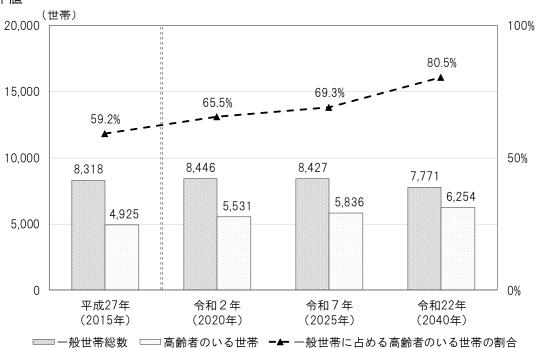


2. 世帯推計

直近の平成27年(2015年)国勢調査を基準とした国立社会保障・人口問題研究所の都道府県別推計をもとに試算すれば、貴町の一般世帯総数は、令和2年をピークに減少に転じますが8,400台で推移する一方、高齢者のいる世帯は顕著に増加し、令和7年には5,836世帯、一般世帯総数に占める割合は69.3%になるものと見込まれます。

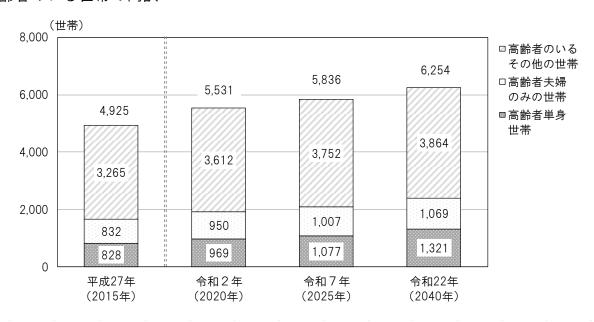
また、その後も高齢者のいる世帯の増加傾向は続き、令和 22 年(2040 年)には、一般世帯総数の 80.5%を占め、要援護性の高い世帯類型である高齢者単身世帯は 1,321 世帯、高齢者夫婦のみの世帯は 1,069 世帯になるものと見込まれています。

■推計値



※平成27年(2015年)は国勢調査。令和2年(2020年)、令和7年(2025年)、令和22年(2040年)は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計) 2019年推計」における宮城県の増加率をもとに独自に計算。本頁はすべて同様。

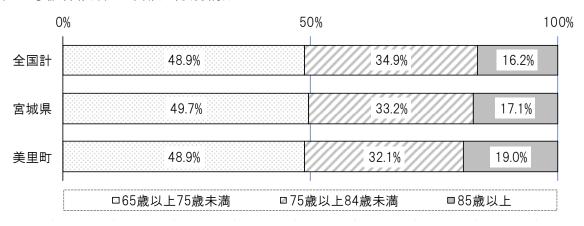
■高齢者のいる世帯の内訳



3. 第1号被保険者及び要支援・要介護認定者の状況

貴町の介護保険事業の状況について、まず、被保険者の年齢区分構成を比較すると、国、 宮城県よりも「85歳以上」の割合が高くなっています。

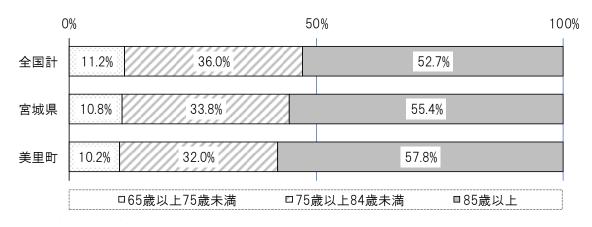
■第1号被保険者の年齢区分別構成比



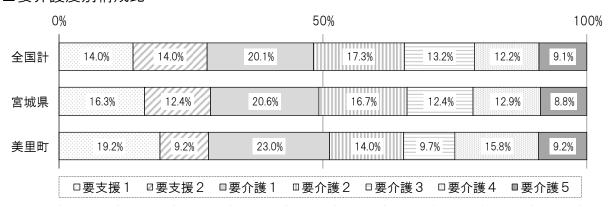
※被保険者数、認定者数については厚生労働省「介護保険事業状況報告(暫定)令和元年6月 分」、給付関係については同8月分により作成。以下すべて同様。

また、要支援・要介護認定者となった方(認定者)に関しても、年齢区分別の構成比を みると、貴町は、国、宮城県よりも「85歳以上」が占める割合が高く、要介護度別の構成 比では、「要介護2~3」の割合が低く、「要支援1」、「要介護1、4」の割合が高くなっ ています。

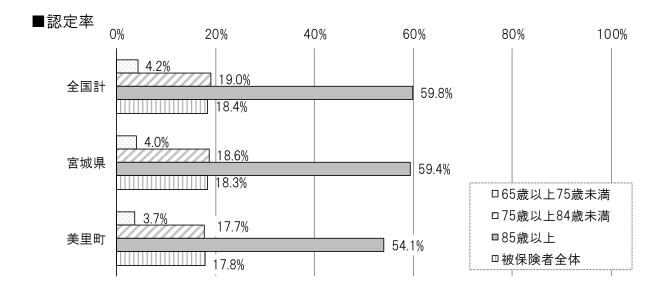
■認定者の年齢区分別構成比



■要介護度別構成比



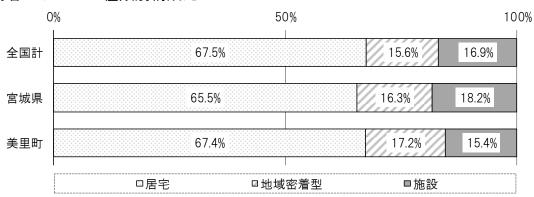
被保険者が要支援・要介護認定者となる割合(認定率)は、被保険者全体及び各年齢区分ともに国、宮城県よりも低く、特に「85歳以上」は 51.5%と国、宮城県よりも約8ポイント低い水準であります。貴町の介護予防に対する取り組みの成果がうかがわれます。



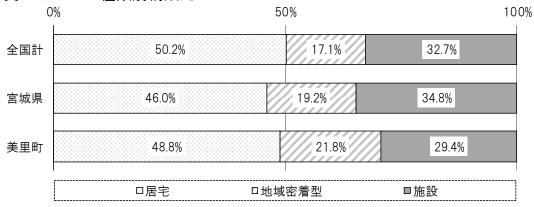
4. 介護保険給付の状況

貴町の介護保険サービスの利用構成は、国、宮城県よりも施設サービスへの利用依存度が低く、地域密着型サービスの利用がやや多くなっています。

■利用者のサービス種類別構成比



■給付費のサービス種類別構成比



介護保険給付費は、被保険者1人当たり、認定者1人当たりともに、国、宮城県よりも低くなっています。サービス種類別の利用者1人当たりの給付費についても、主要サービスである居宅サービスは国より、施設サービスは国、宮城県よりも低い一方で、地域密着型サービスは国、宮城県よりも高く、これまでの基盤整備の特徴が現れています。

■介護保険給付費

全国計

宮城県

美里町

